

Close up! HP ProLiant

リモートアクセスでいつでも、どこからでも、サーバ操作を可能にする

内蔵Lights-Out (iLO)テクノロジー



HP ProLiantの主な製品に搭載された、内蔵Lights-Out (iLO)テクノロジー。
この、HPが独自に開発した最先端の遠隔操作機能は、他の追随を許しません。
今回は、リピーターもHP ProLiantを選ぶ理由に最も多く挙げる、
“最先端の遠隔管理機能”を支えるテクノロジーをご紹介します。

OS非依存の仮想コンソール・テクノロジー

従来の常識をくつがえすほどの高度な遠隔操作を実現したのは、HP独自の開発によるリモート管理用CPU、『内蔵Lights-Outプロセッサ』。メインシステムから独立して動作するため、OSの種別やサーバの状態を問わず、ネットワーク経由で遠隔操作が可能です。

右図のように、たとえばWindowsのコンソール画面でLinuxのサーバを操作できるのも、HP ProLiantではあたりまえ。多くのユーザから高い評価をいただいています。OSに依存しないため、Webブラウザさえあれば、自宅やインターネット・カフェからでも、まるでサーバールームにいるかのように操作できます。



内蔵Lights-Out Advancedパックの追加でグラフィカルリモートコンソールを利用可能。

遠隔地に設置したサーバの電源操作が可能

電源がOFFになっているサーバを遠隔地から起動したり、OSがフリーズした際に強制終了をかけた後、ファームウェアをアップデートして再起動したり…これらも、システム電源OFF時にも常に通電されている、『内蔵Lights-Outプロセッサ』の活躍によるもの。右図のように扱いやすい画面に、電源のON/OFF、再起動など、4種類のバーチャルパワーボタンをご用意しています。

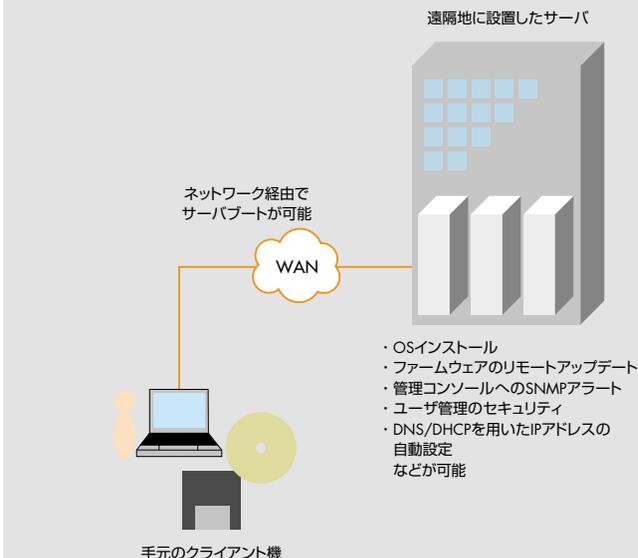


遠隔地からのサーバ電源操作画面

仮想メディア機能を搭載

手元のPCのCD-ROMドライブなどを、仮想的にサーバのドライブとして使用することも可能。
オフィスや自宅の、手元のPCから、遠隔地に設置したサーバへOSをインストールすることも可能です。(内蔵Lights-Out Advanced/パック追加時)

管理・運用にかかる手間とコストを大幅削減！



内蔵Lights-Outプロセッサを標準搭載したモデル

- ・DLライン …… 100シリーズ*、300シリーズ、500シリーズ
- ・MLライン …… ML150*、300シリーズ、500シリーズ
- ・BLライン …… BL20p、BL25p、BL35p、BL45p

HP ProLiantのほとんどの機種が内蔵Lights-Outを標準装備！
さらに標準装備していない一部の機種も、オプションによりサポートしています。

※100シリーズには、当機能の一部を提供するリモート管理ツールをご提供しています。

グラフィカルな操作を可能にする、扱いやすいソフトウェア

「内蔵Lights-Out Advanced/パック」については下記ウェブサイトをご参照ください。

▶ www.hp.com/jp/servers/manage